

明るく元気の出る町

平成16年11月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

2004

11

NO.596



おおきな～れ!

～閉町記念2004

東由利町植樹祭～

(10/20 小中学校の部)



町イメージ
キャラクター
「おウ太くん」

町功勞者に4氏決定

町功勞者選考委員会が九月十五日に開かれ、平成十六年度町功勞者に長谷山二郎氏、阿部剛氏、長沼久男氏、梅津榮一氏の四氏を、町長感謝状贈呈者に四氏、二団体を決定しました。表彰式は十一月五日、町民体育館で行われます。

感謝状贈呈者

豊島重孝氏
ひがしゆり音楽祭を主催し、町の文化の発展向上に寄与されました。

佐々木良三氏

高橋宏幸賞童話秋田県コンクールの審査委員長として、町の文化の発展向上に寄与されました。

由利組合総合病院

昭和三十五年から町立大琴診療所の運営にあたり、町の医療保健の向上に尽力されました。

伊東トクミ氏

昭和二十二年に助産所を開業、衛生思想の普及啓発や母子保健の向上に寄与されました。

東由利町技能組合

昭和五十一年から全組合員が協力して学校施設の補修など奉仕活動に精励されました。

故佐藤徳市氏

旧館合水道組合の創設以来の組合長として、また昭和四十八年から町商工会理事として本町の発展に寄与されました。



長谷山二郎氏
(71歳・船木)

議長などの要職を歴任。議会の円滑な運営と町政の伸長発展に寄与されました。

また、平成二年

長谷山氏は、昭和四十三年に町議会議員に当選し、以来二十二年にわたり議会議員の職に就かれ、この間総務委員長、

には、由利郡町村議会議長会副会長、秋田県町村議会議長会監事を歴任し、広く地方自治の向上発展に貢献されました。



阿部剛氏
(71歳・蔵)

を歴任されました。平成十一年に由利郡町村議会議長会会長、秋田県町村議会議長会理事などの要職を担い、

阿部氏は、昭和五十一年から二十三年にわたり町議会議員の職にあり、各常任委員会副委員長、副議長及び議長の要職

また平成十三年から現在に至るまで、町社会福祉協議会会長を務められ、町の民生・福祉の向上に貢献。このたびは、町功勞章と併せて町自治功勞章が贈呈されます。

町政の伸長発展に貢献



長沼久男氏
(71歳・新町)

教育民生委員長及び副議長の要職を担い、議会の適正な運営に寄与されました。

また、二十五年

長沼氏は、昭和五十一年に町議会議員に当選し、以来二十二年にわたり議会議員の職に就かれ、この間産業建設委員長、

現在にいたるまで地域のスポーツ振興に貢献されています。



梅津榮一氏
(68歳・大琴)

員長及び副議長の要職を担い、議会の適正な運営に努められました。また、昭和五十五年

昭和五十五年に町議会議員に当選し、以来二十年にわたり議会議員の職に就かれ、この間産業建設委員長、教育民生委

わたり町消防団副団長に就かれたほか、平成元年から平成四年まで町農業委員会委員を務められ、農家の経営安定並びに地域の農業振興に寄与されました。

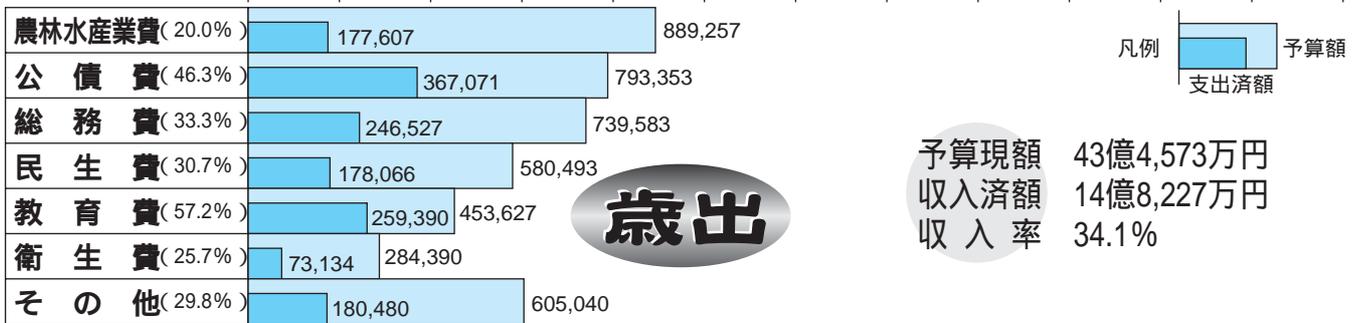
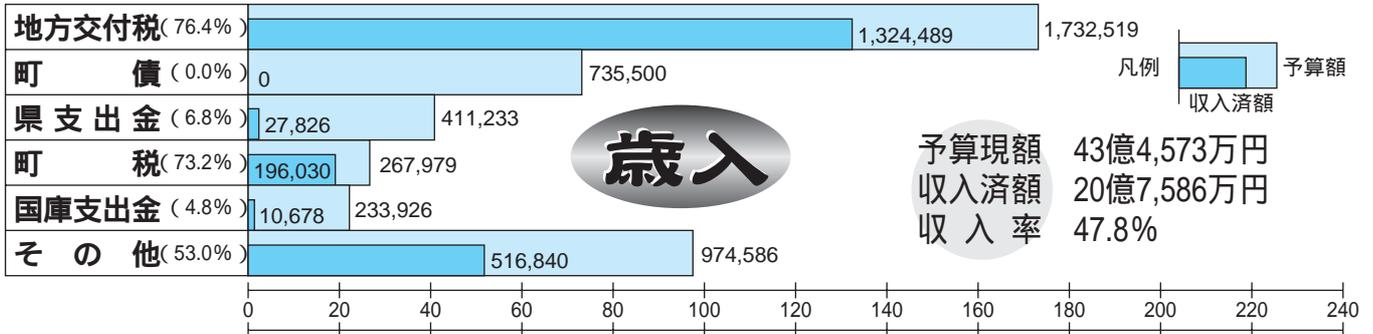
平成16年度 財政状況公表

(平成16年9月30日現在)

町の上半期(4月1日～9月30日)の財政状況をお知らせします。

一般会計の施行状況

(単位：千円)



特別会計の収支状況

(単位：千円, %)

区分	予算現計	歳入		歳出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業勘定特別会計	520,815	247,826	47.6	214,037	41.1
老人保健医療事業特別会計	770,627	270,976	35.2	288,263	37.4
簡易水道事業特別会計	231,862	59,992	25.9	44,583	19.2
農業集落排水事業特別会計	480,480	9,320	1.9	127,325	26.5
特別養護老人ホーム東光苑特別会計	528,499	142,328	26.9	139,968	26.5
合計	2,532,283	730,442	28.8	814,176	32.2

町民負担の状況

(単位：円, %)

税目	区分	H16(16年9月末現在) 4,789人 (参考) 1人当り負担額			13年度	14年度	15年度
		調定額(千円)	一人当り負担額	構成比			
町民税		74,081	15,469	26.8	16,151	16,201	15,885
	個人分	66,813	13,951	24.2	14,472	14,478	14,760
	法人分	7,268	1,518	2.6	1,679	1,723	1,125
固定資産税		172,162	35,949	62.3	32,676	34,597	34,385
	固定資産税	171,194	35,747	61.9	32,500	34,418	34,204
	固有資産等交付金	968	202	0.4	176	179	181
軽自動車税		11,308	2,361	4.1	2,092	2,177	2,291
町たばこ税		12,564	2,624	4.5	2,132	2,547	2,468
入湯税		6,382	1,333	2.3	1,648	1,685	1,514
計		276,497	57,736	100.0	54,699	57,207	56,543

閉町記念2004 東由利町植樹祭

東由利単独町として最後となる町植樹祭が10月20日と23日に行われました。

20日は、町内小中学校の児童生徒ら約400人が参加。アジサイやナナカマド、ヤマモミジなど計450本を八塩いこいの森敷地内に植樹しました。また、23日にボツメキ水源地で行われたオープン参加の部では、一般公募による参加者約150人が、760本のブナなどを植樹。参加者は、立派な木になるようにという願いを込めて1本1本に土をかけていました。



20日は児童生徒による植樹



オープン参加の部では、新米のおにぎりや豚汁がふるまわれました



親子連れも参加したオープン参加の部

町長日記

収穫の秋、異常気象や台風の影響で、沿岸市町では飯米の心配をしている農家もあるということです。我が町の作況指数もやはり低いようですが、秋はやっぱり豊作という言葉に安心します。少しでも良い数値であることを祈ります。

今年の台風には心配させられました。超大型の二三号まで次々と日本列島を蹂躪するという荒れように、恐怖を感じました。あの被害をテレビなどで見れば、我が町の積雪の心配などは許容範囲であるとも思ったことです。

また、新潟県中越地震の被害の大きさにも驚きました。なんの前兆もなく突然ということに不気味さを感じたことです。お見舞い申し上げます。いろいろ心配した収穫の秋でした。

八日は石沢バイパスの開通式がありました。国道一〇七号本庄までの一番の難所四キロがバイパス開通しました。これでまた本庄に五分近づきました。十日は第二回秋田県パークゴルフ交流大会が八塩いこいの森パークゴルフ場で開催されました。二百人ほどの参加者でしたが、優勝者と十位以内に町内選手が四人入りました。来年の東北大会もぜひこうありたいと話したことです。

十七日は八塩登山の日でしたが、会が重なり参加できず残念でした。主催者の横山住吉館長さん始め役員の方には今年も大難儀をかけた。

この日、泡ノ瀨会館に小松産業課長ともども参りました。県営ボツメキ老朽ため池整備事業の竣工と、会館の改装整備のお祝いに我々を招待してくださいました。ボツメキ水源のお礼も改めて申し上げたことでした。

午後からは、「湯楽里」で東由利本荘会の総会がありました。小松寛治先生の講話の「歳をとつたら太るな、転ぶな」には皆さん納得でありました。柳田弘本荘市長さんも途中から参加され、カラオケのサービスをされました。二十日は小中学校の部、二十三日はオープン参加の部と、二回に分けて植樹祭が行われました。どちらも雨の予報でしたが、結果は絶好の植樹日和。ボツメキ水源に整然と植えられたブナの幼木を見ながら、婦人会の皆さんが五時に起きて握ってくれた新米のおにぎりがおいしかったです。

二十四日は、第十二回ひがしゆり音楽祭が開催されました。旧蔵小、玉米小、玉米中の校歌も歌われました。秋田市からの青少年オーケストラもすばらしい演奏でした。最後に豊島先生の指揮で東由利賛歌を全員で歌い、感動しました。

二十五日と二十六日は、小野長一さんご夫婦の介添えで、「あきたこまち一升を新嘗祭献納してきました。皇居に参内し、賢所参集所で天皇陛下からお言葉をいただいていた参りました。小野さんご夫婦ともども緊張いたしました。朝夕寒くなりました。風邪などひきませんように。



東京に向かうバスに乗り込む出稼ぎ労働者（昭和51年）



出稼ぎ

昭和47年に 最高の1,020人

町民の
6.8人に1人

「出稼ぎ」は、戦後日本の農村において広がった労働形態です。農閑期の生計を満たすために、家を離れて他地で働くというもの。特に東北地方に多く出稼ぎ労働者のほとんどが男子でした。

戦後の日本における出稼ぎ労働者の数は、昭和三十年ころから約二十年にわたって続いた高度経済成長に伴って増加し、昭和四十七年には五十五万人にのぼりました。その後、昭和四十八年のオイルショックを契機とする経済環境の激変や平成不況により、出稼ぎ労働者は減少、その半分の二十五万人となりました。

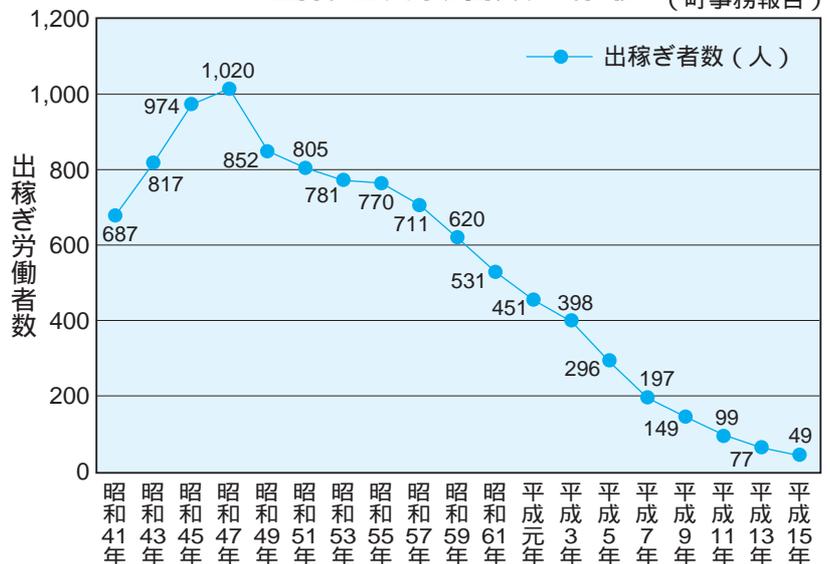
本町においても出稼ぎ労働者数が最高に達したのは、昭和

四十七年のこと。そのときの出稼ぎ労働者数は、一千二百十人（男九百三十六人・女八十四人）にもなりまし た。当時の町総人口が六千九百六十人であつたことから、町民の六・八人に一人が出稼ぎに出ていたことになりま す。しかし、不況による求人減少などにより、その後は減少の一途をたどり、平成十一年には百人を切り、平成十五年の出稼ぎ労働者は四十九人となりました。

昭和52年出稼ぎ者
33%が40代

自治会別に昭和四十七年の出稼ぎ労働者数を見てみると、人口や農家数の多い地区に集中しており、上位から大琴五十四

出稼ぎ労働者数の推移（町事務報告）



人、小倉三十四人、松柴三十人。大字別では、順に館合三百二十一人、宿百八十六人、黒淵百二十八人となっています。

また、昭和五十二年（一月十五日現在）の町広報の調べによると、四十歳代が全体の三三・、次いで二十歳代が二二・九、五十歳代が二一・八となつていいます。このデータから、世帯主となる世代のほか、学校を出たばかりの若い世代も

昭和47年自治会別出稼ぎ者数

順位	自治会	人数
1	大 琴	54
2	小 倉	34
3	松 柴	31
4	下 通	30
5	袖 山	27
	新 町	27
	蔵 新 田	27
	高 村	27

昭和47年大字別出稼ぎ者数

順位	大字名	人数
1	館 合	221
2	宿	186
3	黒 洲	128
4	老 方	154
5	田 代	115
6	法 内	114
7	蔵	102

昭和51年出稼ぎ者の就労先別人数

順位	府 県	人数
1	東 京 都	232
2	神 奈 川 県	163
3	埼 玉 県	75
4	愛 知 県	73
5	千 葉 県	65
6	静 岡 県	63
7	兵 庫 県	41
8	奈 良 県	34
9	茨 城 県	20
10	富 山 県	17

職種は建設業、 就労先は東京都

昭和六十年年度の出稼ぎ者就

出稼ぎに出ていたことが分かります。しかし、徐々に家から通動できる距離に勤め先ができ、農家の「安定兼業」の時代となりました。

労職種別人数調べによると、出稼ぎ労働者六百六人のうち、最も多い就労職種は建設業で二百三十四人、次いで工業が百四十人、運輸業が五十四人となっています。

また、昭和五十一年の出稼ぎ先を都道府県別に見てみると、東京都が二百三十二人でト

ップ、次いで神奈川県が百六十三人、埼玉県が七十五人と続き、やはり関東地方に集中していたことが分かります。出稼ぎの就労経路については、公共職業安定所を経由しない人も多く、実態把握は困

難でした。そのため、就労先での労働災害や労働条件をめぐるトラブルなどを防ぐため、昭和五十年から町でも専任窓口を設け、出稼ぎ労働者の慰労会を開くなどの出稼ぎ対策がとられるようになりました。

留守家族

出稼ぎ労働者の九割が男子だったことや、四十代と五十代が全体の半数を占めていたことから、出稼ぎ労働者の多くが家

の世帯主や働き盛りの男子だったことが分かります。つまり、農作業が終わる十月半ばから翌年四月にかけての男手が足りない時期、家を守っていたのはお母さんたちでした。

「必死ではたりました。

残った家族も

大変だったはず……」

元グループリーダー

木島 忠一さん（黒沢）

協子さん



忠一さん

私は昭和三十一年から約二十年間出稼ぎに行き、そのうちの昭和四十年から出稼ぎをやめるまでの十二年間グループリーダー

を勤めました。私たちのグループは、最も多い年で八十人。本町で最大のグループでした。出稼ぎで一番苦労したのは集団生活です。大森町から来た四十人と計百二十人の寮生活でした。健康管理も全て自分たちでやらなければなりません。他のメンバーも苦労することがたくさんあったでしょう。少しでも生活環境を良くするために、地元から五人のまかないさんも同行してもらいました。

出稼ぎは、本町に良い現金収入になります。町に残って同じ給料を稼ぐことは無理だったでしょう。また、当時は働きたいだけ働かせてもらえず、働いた分の給料はしっかり出ましました。

しかし、家に残った家族は大変だったと思います。父がまだ現役でしたが、子どものことは妻に任せきり。家庭を守るのは大変な負担だったはず。当時は働くことに必死で、正直家

のことを考える余裕はありませんでしたが、やっぱり家を空けるのは心配。同じ理由で地元の仕事を探し、出稼ぎをやめた人も多いと思います。

夫が家を空ける冬の間は心細いことがたくさんありました。子どもが生まれた次の年には、もう出稼ぎで家を空けることが多くなり、子どもの就職のことも私一人でやりました。子どもも寂しい思いをしたでしょう。

一番苦労したのは、たい肥の運搬や雪かきなどの力仕事。昭和四十八年の大雪のときは、連絡をとり一度帰ってきてもらいました。ですから、春になって帰ってくるかと本当はほっとしました。

しかし、出稼ぎの話聞いてみると、家を離れて働く夫も苦労したのだと感じます。家族を支えるために一生懸命働いてくれたことに感謝しています。



紅葉を眺めながら登山する参加者

八塩山の紅葉を楽しむ

秋の八塩登山

秋の八塩登山が十月十七日に行われ、町内外から参加した約四十人の登山者たちが、色づき始めた八塩山の紅葉を楽しみました。

この日は、風ぴらコースから登り、前平コースを下山。頂上で昼食をとった登山者たちは、キノコ採りをしたりゆっくり景色を眺めたりと、思い思いの時間を過ごしました。



熱戦を繰り広げる参加者

鞆崎芳造さん優勝

第2回秋田県パークゴルフ交流大会

「第2回秋田県パークゴルフ交流大会」が十月十日、八塩いこいの森パークゴルフ場で開催され、鞆崎芳造さん(家ノ下)が一般男子の部で見事優勝を飾ったほか、町内の参加者が上位入賞を果たしました。

大会成績は次のとおりです。(敬称略)

- 一般男子の部
 - 優勝 鞆崎 芳造(東由利町)
 - 第2位 三浦 岑夫(湯沢市)
 - 第3位 今野 秀和(東由利町)
 - 第4位 高橋 市郎(本荘市)
 - 第5位 加藤 清一(東由利町)
- 一般女子の部
 - 優勝 山本 コウ(湯沢市)
 - 第2位 富谷 邦子(湯沢市)
 - 第3位 渡部チトセ(森吉町)
 - 第4位 鞆崎トメヨ(東由利町)
 - 第5位 柴田 良子(湯沢市)



様々な要望が寄せられた袖山分館町政座談会

要望への対応に遅れは出ないか

袖山分館町政座談会

袖山分館町政座談会が十月二十三日、袖山会館で開かれ、合併後の地域づくりなどについて様々な意見が出されました。

当日は、十二人の地域住民が参加。「合併後、このような座談会で出される住民の要望に対して、行政の返答・対応が遅くなることに不安を感じる」などの合併に関する意見のほか、道路の補修、除雪体制などについて活発な意見交換が行われました。



活発な意見交換が行われた新町自治会フォーラム

住民の声が届くか不安

新町自治会フォーラム

新町自治会フォーラムが十月二十一日、新町会館で開かれ、合併議論などに関する意見交換が行われました。

当日は、地域住民二十二人が参加。合併後のまちづくりについて、「住民の声を行政に届けるためには、総合支所に特別職が必要ではないか」「町出身の議員が減るので住民の声が届くか不安」などの意見が出されたほか、合併後の自治会活動や消防署下の交差点の道路拡張について多くの意見・要望が寄せられました。

8時間、38回に及ぶ熱戦

社会人秋季マラソン野球大会

町内十四の社会人野球チームが二組に分かれて、八時間継続方式の紅白戦を行う社会人秋季マラソン野球大会



8時間継続で行われた紅白戦

が、十月二十四日に町野球場で開催されました。

三十八回に及ぶ試合を二十対十六で制したのは白チーム。個人賞に選ばれた選手は次のとおりです。(敬称略)

ベストプレーヤー賞 鈴木紀貴(秋田ルビコン)

優秀選手賞 岩井克己(蔵バイレツ)

勝利監督賞 阿部宇左エ門(法内フラス)

ファイブプレー賞 高橋進(高瀬)

打撃賞 阿部正輝(ポバイスポーツクラブ)

菊地晃(シリユウス)

敢闘賞 鈴木徳之(袖山オリオールズ)

畠山繁光(ポバイスポーツクラブ)

阿部聡(蔵バイレツ)、大日向

正史(秋田ルビコン)

入所者と家族の交流を

東光苑秋まつり

「東光苑秋まつり」が十月二十四日、東光苑で行われ、訪れた家族や地域住民がゲームなどを通して入所者との交流を深めました。

祭りでは、訪れた家族らと入所者による風船バレーや演芸発表、抽選会などが行われ、入所者は楽しい一日を過ごしていました。



家族らと風船バレーを楽しむ入所者



佐藤真吾さん(下小路・19歳)

職業は
平鹿町の「アスター工業」に勤めています
休日の過ごし方は
友だちや彼女とドライブに行きます。今は山形県の飛島に行きたいと思っています。
自分の性格は
面倒くさがり。遊びに行くときも、誘われてから行くことが多いですね。
理想のタイプは
外見はあまりこだわりませんが、決断力のある人が好きです。付き合うなら自分と気の合う方がいいです。
目標・夢は
兄のような人になること。
東由利町へ一言
本当は合併してほしいです。

アイドルをさがせ!



佐藤駿くん
(黒淵・1歳)
お父さん: 由宏さん
お母さん: 美穂子さん
お話し: 美穂子さん

名前の由来は?
「馬のようにたくましく、そしてみんなに愛される人に成長してもらいたいという思いをこめました」
好きなものは?
「テレビのCMが好きです。特に洗剤の「キュキュット」が好きで、泣いているときにこのCMが流れるとピタッと泣きやみます」
家族では誰になついていますか?
「家族みんなになついています、特に88歳のおじちゃんが好きです」
本人の性格は?
「わんぱく坊主ですが、誰にでも愛想がよく、ちょっと甘えん坊さんなところも」
お父さんとお母さんから駿くんへひとこと
「とにかく健康で、周りの子どもたちと同じように元気に力強く生きてください。その笑顔を忘れずに...」



知っておきたい Q&A

Q. 介護保険で住宅改修できるそうですが、どんな改修ができるのですか。

A. 介護保険では、下記の住宅改修を給付対象としています。
住宅改修費の上限は、要介護状態区分にかかわらず、現在住んでいる住宅について20万円が原則で利用者はその枠内にかかった費用の1割を負担します。

介護保険の給付対象となる住宅改修

- 床の段差の解消（敷居の平滑化や交換、スロープの設置）
- 手すりの取り付け（階段、廊下、浴室への手すりの設置）
- 床材の変更（浴室床のノンスリップ化、畳からフローリングの変更）
- 引き戸への取り換え（ドアによる開閉から引き戸への変更）
- 便器の取り換え（和式便器から洋式便器への変更）
 - ～ の住宅改修に伴うもの（手すりの取り付けに伴う壁の補強、便器の取り替えに伴う床の改修など）

一口メモ

住宅改修を行う際には、ケアマネージャーが調整役となって、相談に応じたり、必要な書類を用意したりします。利用したいその他の在宅サービスとあわせ、ケアプラン全体の中でどのような改修が必要なのかを検討するためにも、担当ケアマネージャーとよく話し合しましょう。

問い合わせ 町民福祉課福祉係 69 - 2118



11月6日～12日は
年金週間

年金日より
相談業務時間を
延長します

秋田社会保険事務局本荘事務所では、11月6日から12日までの年金週間期間中の相談業務の時間を、下記のとおり延長して実施します。

日付	時間	業務内容
6日(土)・7日(日)	9:00～16:00	年金相談、国民年金保険料関係
8日(月)	8:30～19:00	年金相談、国民年金保険料関係
9日(火)～12日(金)	8:30～19:00	年金相談業務

問い合わせ 町民福祉課年金担当 69 - 2117

ほけんしのコラム

いきいき健康教室

心身のリラックで良質の睡眠を

寝不足は免疫力や集中力の低下を招くため、感染症やもの忘れ、ケガの原因となります。特に高齢期には、不眠に悩まされる人が増えます。次の点に気をつけ、良質の睡眠を得るようにしましょう。

読書や音楽、ぬるめの入浴で心身をリラックスさせる。布団に入ったら悩み事は考えない。

照明はあまり明るくせず、就寝4時間前にはカフェインを含んだ飲み物を避ける。

軽い運動を習慣づける。

昼寝は午後1時～3時の間で30分以内。

激しいいびきや呼吸停止、日中の強い眠気は専門医に相談を。また、睡眠薬を服用する場合は必ず医師の指示を守りましょう。



スギの樹冠長

スギ立木の枝と葉の集合部分を樹冠と称し、樹冠長は樹冠の先端部から最も下部に位置する枝までの長さをいいます。樹冠長は立木密度・林の混み方の影響を強く受けます。スギ立木の

本数が多くなると下枝が枯れあがり樹冠長が短くなります。樹冠長の長さの樹高に対する比を樹冠長率と呼び、立木密度の影響を表わす目安とされています。立木密度の影響で樹冠長率が低下すると葉による光合成量が

不足して成長が衰えます。したがって、樹冠長は間伐時期決定の指標になっています。

近年、林業不振からスギ林を長伐期の八十年から百年に持つていこうとしていますが、樹冠長率が三〇%位よりない三十年から五十年の森林では、台風や風雪害の被害を受ける危険性があります。

要するに八十年から百年の長伐期を目標とするならば、三十年から五十年で樹冠長率を五〇%位にするように間伐を繰り返していけば危険性もなく目標を達成できると思います。

(町林業懇話会長 佐藤恒悦氏)

十月家畜市場

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
去勢	30	302kg	536,410円	1,686円
雌	16	271kg	454,584円	1,595円
全体	46	292kg	507,949円	1,654円

最高価格

	金額	父	母の父	母の祖父
去勢	653,100円	平茂勝	北国7の8	安福165の9
雌	642,600円	平茂勝	北国7の8	高栄

木材共販市況

(平成十六年十月・平均価格)
四十五年生、五十五年生

径級	単価(石)	備考
直材36cm上		
24~34cm	4,156	
14~22cm	3,128~3,307	
13cm下		
曲り材		

16~22cmは出品量も少なかったせいもあり、まずまずの単価で完売。24~34cmは全く引き合いがなく1口売れただけでトータル34%と低調。

おとなり情報

~本荘由利の催物などを紹介します~

岩城町から

第34回岩城町文化祭 特別講演

とき...11月2日(火) 18:30
ところ...岩城町民総合体育館
内容...出演者: 牧村三枝子、黒川真一朗、青空うれし(司会)、ビックボーイズ(爆笑コント)、チビ子勘太郎(新舞踊)
入場料...無料
岩城町公民館 73-2468

由利町から

由利町発足50年記念 文化講演会

とき...11月3日(水) 15:30
ところ...中央コミュニティセンター「善隣館」
内容...講師: 浅利香津代(俳優)、演題: 「ふるさとと私の生きがい」
入場料...無料
由利町教育委員会生涯学習課 53-2245

西目町から

第10回産業文化祭

とき...11月1日(月)~7日(日)
ところ...西目町B&G海洋センター、西目町民センター「シーガル」
内容...6日、7日は果樹・農林産品評会をはじめ、各種展示会やコンクール、即売会などのイベントを開催。
西目町産業課 33-4614

前田英樹ピアノリサイタル

とき...11月26日(金) 18:30開演
ところ...西目町民センター「シーガル」
入場料...前売券一般800円、高校生以下300円
西目町民センター「シーガル」 33-2315

りんごまつり・ねぎまつり

とき...11月7日(日) 9:00
ところ...道の駅にしめ「イベント広場」
内容...西目町特産りんごと、道の駅向かいの団地で栽培されたネギの販売を実施。
西目町産業課 33-4614

仁賀保町から

文化講演会

とき...11月7日(日) 13:30開演
ところ...勤労青少年ホーム
内容...講師: 森田正光(お天気キャスター) 演題: 「テレビで言えない天気の話」
入場料...整理券500円
仁賀保町教育委員会社会教育課 37-3121

大内町から

第7回大内町むらおこしカラオケ大会

とき...11月14日(日) 11:00開演
ところ...大内町農村環境改善センター
内容...ゲスト出演: ハン・ボクスン(韓国出身民謡歌手)、つばさ(秋田市の高校生歌手)
入場料...1,000円
実行委員会事務局 65-2288

NHKふるさと競演 ~大内町vs岩城町~

とき...11月21日(日) 15:45開演
ところ...出羽中学校体育館
内容...出演: キム・ヨンジャ、山川豊、大内・岩城町民
入場料...無料
申込...観覧申込は、官製往復はがき(1人1枚)の往信裏面に、郵便番号・住所・名前・電話番号を、返信用表面に郵便番号・住所・名前を記入。応募多数の場合は、抽選のうえ入場整理券を送付します。締切は11月8日(月)必着。
NHK秋田放送局
010-8501 NHK秋田放送局「ふるさと競演」係
018-824-8100

声たからかに 「東由利町賛歌」合唱

～第十二回ひがしゆり音楽祭

小松音楽兄弟を顕彰して行われる「ひがしゆり音楽祭」も回を重ねること十二回、今年も十月二十四日、東由利中学校体育館を会場に開催され、町内の小中学生、コーラスグループ、特別出演団体の秋田青少年オーケストラなど総勢三百余名が参加しました。

音楽祭のオープニングは、東由利中学校吹奏楽部の「シンクロナイズドダンス」の元



すばらしい演奏を披露した秋田青少年オーケストラ



合唱で交流を図る八塩・高瀬小の5.6年生

気な演奏に始まり、第一部では八塩小学校・高瀬小学校が合同で小松耕輔作曲の「たんぼぼ」など二曲、東由利中学校が学年毎に「朝」など四曲を披露、続いて秋田青少年オーケストラが「カノン」など四曲の演奏を行いました。

今年で創立三十周年を迎える秋田青少年オーケストラは、小学三年生から大学生までの二十三人が、羽川武団長の指揮のもと素晴らしい演奏を披露、「おもちやの交響曲」では参加者に



元気に合唱を行う東中3年生

バケツやタライを叩かせたり、手拍子や足拍子で演奏に加わらせるなどして大いに音楽祭を盛り上げました。

第二部では東由利混声合唱団（コールゆらり）が旧玉米中学校校歌など三曲を披露し、息のあったハーモニーを会場に響かせました。

コール黄桜は四曲を披露、旧蔵小学校校歌、玉米小学校校歌を会場のOBらと一緒に歌い、往年のなつかしいメロディと共に、当時の思いを馳せました。

最後を飾るフィナーレは、ひがしゆり音楽祭を長い間指導していただいている豊島重孝先生の指揮のもと、「東由利町賛歌」を参加者全員が声たからかに歌い上げ、小松音楽兄弟の功績を讃えました。



フィナーレは全員で合唱「東由利町賛歌」



蔵小、玉米小のOBとともに合唱「コール黄桜」



きれいなハーモニーを披露「コールゆらり」

情報ボックス

小松耕輔生誕百二十年
記念講演会開催

町が生んだ偉大なる音楽家小松耕輔氏は、本年十二月十四日をもって生誕百二十年を迎えます。これを機に、改めて郷土の先覚者の業績を顕彰し、次代に引き継いでいくため記念講演を開催します。

日時 十一月十八日(木)
午後一時三十分開演

会場 有郷館

講師 秋田県立博物館

名誉館長 新野直吉氏
演題 「音楽開花の人 小松耕輔」(仮称)

お誘い合わせのうえご来場ください。

第十一回東由利町

スポーツ祭種目別大会

ビーチボールバレー大会を開催します。

日頃の運動不足解消を図りませんか。

期日 十一月二十八日(日)
午前九時 開会式

会場 町民体育館

参加申込みは、所定の様式により十一月十七日(水)まで教育委員会へ。

10月 公民館行事から

保育園でボランティア



おやつを配るサークル会員

〜わくわくサークル

十月九日、十六日、二十三日の三日間、みどり保育園、永慶保育園でわくわくサークルのボランティア教室が行われました。

参加したわくわくサークル会員五十四人は、園内の清掃や、園児と一緒に遊具で遊んだり、絵本の読み聞かせを行うなど積極的に活動していました。

「太陽」チームが優勝!



見事優勝を飾った「太陽」チーム

第二十回全国選抜ゲートボール大会ミドルクラス秋田県予選大会が十月十七日、秋田市の勝平屋内ゲートボール場を会場に開催され、本町から出場した「太陽」チーム(畑山敏・大琴、長沼利文・新町、志村康介・新町、畠山繁記・上通、佐藤俊悦・地下ノ沢)が見事優勝を飾りました。

この大会の優勝により、「太陽」チームは来年の五月に開催される全国大会(会場・新潟県)に秋田県代表として出場が決定しました。

全国大会での活躍が期待されます。

新着本紹介

たくさんのお新刊本が入りました。読書の秋です。ぜひご利用ください。

- ありがとつにありがとつ/やすいすえこ
- ことりとあかちゃんのおはなし/アンドレ・ゲーラン
- うんこ日記/村中季衣・川端誠
- 私の人生私の昭和史/上坂冬子
- 十人の戒められた奇妙な人々/倉坂鬼一郎
- 夏の香り 上・下/チエ・ホヨン
- あさ/朝/谷川俊太郎+吉村和敏
- データ秋田さがけ年鑑2005/秋田魁新報社
- ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 上・下/J・K・ローリング



今月の冊子



「太陽の塔」 森見登美彦著・新潮社刊

32回

学歴階級の頂点にいても、「モテない」というその事実の前には「負け組」にならざるを得ない。そんな現実への屈辱感が、全編を通してよく伝わってくる爆笑青春小説。あー笑った。

主人公の森本は京大の五回生。そのプライドの高さ故、たとえ振られ

- 太陽と毒くも/角田光代
- 地図がない国/川上健一
- 色即せねれーしょん/みづらしゅん
- あおい/西加奈子
- 「Eng and on」はつ恋/よしもとばなな
- 赤い蝶々/ますい志保
- ホエール・トーク/クリス・クラッチャー
- シルミド裏切りの実尾島/イ・スプアン
- 邂逅の森/熊谷達也
- ホット・ゾーン 上・下/リチャード・プレストン
- 半夏生 東京湾臨海善安積班/今野敏
- 離の家/久世光彦
- コブラの眼 上・下/リチャード・プレストン
- 宗教が往く/松尾スズキ
- 僕の子の妹たち/白石公宇
- 目白雑録/金井美恵子
- ミシン2/カサコ/嶽本野ばら
- 奇傑左一平/横溝正史
- あたりまえだけけど、とても大切なこと/ロン・クラーク
- 約束/石田衣良
- 鴨居羊子コレクション1・2・3
- 鴨居羊子
- 女性がひらくネット新時代/矢野直明
- ダーリンは外国人2/小栗左多里
- トンデモ本? 連発、SFだー/山本弘
- ザビエルとその弟子/加賀乙彦
- 風の歌、星の口笛/村崎友
- 犯人に告ぐ/栗井脩介
- 火天の城/山本兼一
- 東京に核兵器テロ!/高田純
- 城山三朗の昭和/左高信
- 宮本常一の写真に読む失われた昭和/佐野真一
- Good Luck ゲッドラック/アレック・ス・ロビラ

た彼女に対してストーリーカー行為を繰り返していても、己を正当化し、屁理屈をこねるひねくれ者。そして、彼を取り巻く大学の仲間も皆、負けず劣らずのひとりよがりな変人揃い。そんな彼らの妄想と含羞に満ちた日常が、独特のリズムで書かれている。

読めば抱腹絶倒という、そういうつもりは全くなく読み始めたため、思い切り予想を裏切られた。だってこれ、実は「日本ファンタジーノベル大賞」の受賞作なんだから。剣も魔法も出てこないこの作品が、「何故大賞に?」とも思うが、頭の中であれこれ空想することがファンタジーだと言わずならば、主人公の常軌を逸した(叶いもしない事を)考え過ぎる姿は、確かにファンタジーと言えるのかも知れない。

主観と客観の見事なスレっぷりが本書の読みどころ。例えば、世界が楕円で出来ているとしたら、作者は間違いない。「楕円の端っこ」の住人だ。そうでなければこんなへその曲がった文章、書けるわけがない。

それにしても、素直じゃない人間の頭の中って、どうしてこうも面白いんだろ。(本人は、生きていくのが無駄に辛いと思うけど)。それから、作者がエライ作家になった暁に、このデビュー作をどう思うのかを知りたい。多分、恥ずかしさのあまり顔を覆って、土手を転がり落ちるんじゃないか。そんな若気を感じたい方、一度読んでみてはいかが。(ひ)

おんせんや むかしむかし 八九

小僧と山ん婆

むかしむかし、山寺の小僧が和尚さんに「和尚さん和尚さん、村のみんなが奥山に栗拾いに行くから、おらも行ってくるよ」と言うと、和尚さんは「山ん婆が出るから、これを守り札に使うといい」と三枚のお札を持たせてくれました。

奥山には栗がいっぱい落ちていて、夢中になって拾う小僧でした。もつぱい拾ったので帰ろうとしたときです。急にあたりが暗くなつたと思つたら林の奥の方から優しそうな顔の婆さまがやって来ました。婆さまは「ずいぶんいっぱい栗を拾ったものだ。家でゆでてやる」と小僧を家に誘い、台所のいりりに鍋をかけ栗をゆでて、小僧に腹がぱんぱんになるほど食べさせてくれました。そして眠くなつた小僧を隣の部屋に寝かせてくれたのです。

夜中にふと目を覚ました小僧の耳に雨だれの音が聞こえます。「…チンチンタンタン小僧や、起きて婆んばの面見ろや…」不思議な雨だれの音を何度も何度も耳にするので、小僧はそっと起きて板

戸のすき間から台所をのぞきました。するとあの優しかった婆さまは、口が耳まで裂け、頭に角がはえ、真っ白な髪をふり乱している恐ろしい山ん婆だつたのです。

小僧は怖くて震えながら、「婆さまや便所に行きたいが…」山ん婆は逃げられないように腰に縄をゆわえ、便所までついてきました。小僧は便所に入るなり、腰の縄を柱に結び、お札を一枚はって「お札さん、おらのかわりに返事をし

ていってくれ」と頼むと、窓から一目散に逃げました。「まだか小僧。早くしろっ！」「まだだよの繰り返し、だまされた」と知つた山ん婆は、真っ赤になつて怒り

狂い、逃がしてなるものかと夜の山道をどんどん追いかけてきます。つかまつた小僧は、二枚目のお札で大きな砂山を、最後の三枚目のお札で流れの速い川を出してもらい、難を逃れたのでしたが、山ん婆の早さにはかない



(文と絵 石渡力造氏)

こありません。「和尚さん助けてくれえ…」ようやくたどり着いた山寺です。和尚さんは急いで小僧を天井裏に隠し、そらぬ顔で餅を焼いているのでした。息を切らせてやつてきた山ん婆に和尚さんが「…まあ落ち着けや。ところで何にでもなれると聞くが、小さな豆コになれるかな…」と持ちかけると、山ん婆はおあいご用とばかりに小さな豆コになりました。和尚さん今だ！と急いで、焼いた餅に豆コをべたべたとくっつけたと思うと、ぺろっ

季節を詠む

(せせらぎ句会)

庭隅に自己顕示して金糸草	舟木 大庭 喜右衛門
握る穂に胸中よぎる米価安	上里 小野 石踏子
病む床の台風の爪蔓いけり	蔵新田 小野 貞子
受信塔月日の錆や雁来月	舟打場 高橋 民治郎
作業車の見えつかくれつ稲架襖	久保 高橋 典三
新米に亡夫を語る手巻き鮓	小倉 遠藤 トミ子
冷まじやこけしの首根こきと鳴る	秋田市 嵯峨 義之
畦ゆけば蝗千匹とび跳ねる	蔵新田 小笠原 トミ
路地裏に肉焼く煙星月夜	横渡 高橋 ヒデ子
貯えをちよつと膨らし秋の旅	山崎 小松 良子
十五夜に点滅灯の機影かな	横小路 小松 丈介
啼きながら群れ追ふ鷺や秋深む	上通 小松 メサ
星の夜にひとり占めしや虫の声	高戸屋 小松 敏雄
塩害に屈むすべなき稲穂かな	蔵新田 小笠原 亮子
ゆく秋をまたたきもせず慈悲菩薩	中通 小松 順之助
羚羊の物憂げに佇つ秋霰雨	新町 寅田 敏雄
檜田となりて農夫の肩まるし	五海保 嶽石 レイ
日をつけて煌めくすすき一望に	時雨山 吉川 葉子

消費税が 変わりました

個人事業者は平成17年分から（法人は平成16年4月1日以降開始する課税期間から）

事業者免税点の上限が、3,000万円から1,000万円に引き下げられました。

簡易課税制度の適用上限が、2億円から5,000万円に引き下げられました。

詳しくは

本荘税務署

22 - 2335

税務相談室秋田南部室

018 - 833 - 3044

自宅で 申告・納税が できます



国税電子申告・納税システムが今年6月から運用開始となりました。国税の申告・納税が、インターネットなどからできます。

詳しくは

ホームページ

<http://www.e-tax.nta.go.jp>

ヘルプデスク

0570 - 015901



高橋絵利花ちゃん
新町（和美さん）

3歳児
健診から

ちびっこだ集合

元気にすくすく育てま〜す

むし歯のなかった子
にはマークがつ
いています



柿崎成くん
下通（大さん）



佐々木麻衣ちゃん
新町（良一さん）



長谷山悠史亜ちゃん
田代（広美さん）



遠藤杏ちゃん
新処（賢志さん）



遠藤采海ちゃん
小倉（和也さん）



欽崎篤哉くん
松柴（正人さん）



佐藤佑斗くん
泡ノ淵（晶子さん）



浅田美咲ちゃん
船木（和幸さん）



佐々木克輝くん
大琴（真由美さん）



小松夕華ちゃん
新町（正義さん）



高橋瞳太くん
須郷（栄樹さん）

1歳6カ月児
健診から



高橋永華ちゃん
新町（貴至さん）



畠山楓乃ちゃん
大吹川（好宏さん）



梅津友照くん
大琴（正明さん）



畑山直紀くん
島（裕輝さん）



遠藤陽奈ちゃん
小倉（友和さん）



長谷山優奈ちゃん
田代（広美さん）



遠藤萌加ちゃん
小倉（和也さん）



横山麻衣ちゃん
向田（慶和さん）

データ東由利

住民基本台帳

	9月末人口	前月比
男(人)	2,307	1
女(人)	2,463	-3
計(人)	4,770	-3
世帯数(戸)	1,367	-2

	9月異動人数	1月からの累計
出生(人)	1	15
死亡(人)	12	64
転入(人)	8	59
転出(人)	0	73

消防・交通

	9月発生数	1月からの累計
火災出動(件)	1	3
救急出動(件)	19	122
交通事故(件)	6	15
死亡(人)	1	2
傷者(人)	0	9
飲酒運転(件)	0	1
酒気帯び(件)	0	3

11月の行事予定

- 3日 文化の日
紅葉カップパークゴルフ大会
- 5日 町功労者表彰式・閉町式
並びに合同竣工式
- 6日 第3回うたごえ喫茶
- 9日 健康づくり県民運動ミニイベント
「食と歯と健康のフェスティバル」
機能訓練教室
- 12日 わくわくサークル(料理教室)
- 13日 乳児健診
食生活改善講習会
- 16日 ことぶき大学(講演会)
- 18日 献血(成分)
- 19日 合併協議説明会(役場)
- 21日 合併協議説明会(大蔵館)
- 22日 合併協議説明会(大蔵館)
- 23日 勤労感謝の日
在京宿小・大琴小会
合併協議説明会(玉米会館)
機能訓練教室
- 25日 合併協議説明会(老方館)
フレッシュ教室
- 26日 わくわくサークル(料理教室)
- 27日 町民スポーツ祭(ビーチバレーボール大会)
- 28日 合併協議説明会(高瀬館)
心のさわやか相談
- 29日
- 30日

東由利

郷土の野草

NO.237

オオケタテ

(タデ科)

文・写真 小松忠正氏

アジア原産の一年草で、日本各地の畑や河川敷などにも見られます。茎、葉ともに粗大で、茎は2にもなります。昔は觀賞用として栽培されたものですが、今では種が運ばれて各所で見られるようになりました。花は茎先で分枝して、長い穂状の鮮紅色の美花をつけます。花は紅色の5深裂する萼からなり、葉は長楕円形で互生し、柄があります。タデ科の植物はほとんど辛い味があり、思いがけないような物を好む人のことを「タデ食う虫もなんとやら」などと言います。



戸籍の窓口

(9月21日～10月20日届出)

お誕生おめでとう

梅津 心寧ちゃん 留美 明大琴

ご結婚おめでとう

小野 隆さん 宿町 畠山 明子さん(新町)

ごめい福をお祈りいたします

- 櫛野シツエさん(82) 信義・妻・館西
- 遠藤ヤエミさん(75) 恭悦・母・小倉
- 小野フサノさん(77) 鈴木イヨ子・母・大琴
- 高橋タケヨさん(102) 遠藤チヨミ・母・小倉
- 阿部 七郎さん(81) チュミ・夫・蔵新田
- 柴田 恵智さん(80) 與太郎・妻・須郷田
- 阿部 ムツノさん(89) 久盛・母・十二ノ前
- 小野 留藏さん(90) 進・父・館新田
- 小野ミノコさん(98) タミエ・母・小倉
- 遠藤ユキノさん(87) 歳子・母・小倉

広報への掲載を希望しない方は届出の際にお知らせください。

お礼

(9月21日～10月20日)

広報送付謝礼として次の方から金一封をいただきました。
佐藤重一さん(鳥海町)、牛島フサさん(所沢市)
社会福祉協議会に次の方からご芳志が寄せられましたのでご紹介いたします。
小野進さん(館合新田)、阿部久盛さん(十二ノ前)、櫛野信義さん(館西)、佐々木孝一さん(大琴)

フィルムひとこま



サツマイモの花が咲いたと聞いて写真を撮りに行きました。蔵新田の何軒かの畑で同じように花が咲いたのだそうです。この珍しい現象に近所の人たちは、「良いことが起こる前兆であってほしいなあ」と話していました。(9月下旬撮影・蔵新田)

ほっとひといき

11月2日からスタートする、ニック先生の英会話教室に参加しようと考えています。英語とは疎遠な生活ですが、話せたら便利だなあと感じることは多々あり、初の英会話に挑戦です。でもニック先生を目の前にしたら、ドキドキして日本語すら話せないかもしれせん。まずは先生と仲良くなることから始めたいと思います。(晃)